

## 「きょう土をひらく」

指導目標	◎琵琶湖疎水を開発した先人の働きに関心をもち、その足跡を年表等の資料を活用して調べて理解し、年表や白地図などの作品にまとめ、地域の人々の願いや努力と琵琶湖疎水を開発した先人の働きや苦心とを関連付けて考え、適切に表現し、その働きや苦心によって地域の人々の生活が向上したことを理解するとともに、先人の努力によって発展してきた地域に対する誇りや愛情をもち、地域のよりよい発展について考えようとする。
公共交通を教材とする利点	先人の苦労や活躍により、琵琶湖疎水が完成したことで、電気が通り、日本で初めての電車(市電)が京都に走ったことを知り、電車が開通したことで地域が発展し、人々の生活が向上したことを理解することができる。
対象学年	4年生
対応教科	社会科
標準校時	14コマ
学習構成	<p>1. わたしたちの住んでいる市はどのようなところなのだろう</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの住んでいる市はどのようなところが、いつからこのようなまちになったかを考える。</li> </ul> <p>2. 誰がどのようにして琵琶湖疎水を作ったのだろう</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>約120年前、琵琶湖疎水は誰を中心に開発が進められ、どのように作られ、どのくらいのお金や時間がかかったか、作ることに反対意見はなかったのかを調べる。</li> <li>琵琶湖疎水は何のために作られたのかを考える。</li> </ul> <p>4. 琵琶湖疎水が完成したことで、まちはどのように変わったのだろう</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>琵琶湖疎水ができたことで、滋賀～京都～大阪が繋がり、貨物用・旅客用の多くの舟が京都のまちに来るようになった。水力発電が可能になり、まちに明かりが灯り、日本で初めての電車(市電)が通るなど、人々の生活が便利になったことを理解する。</li> <li>駅の周りに店ができ賑やかになったり、工場が動くことで京都のモノづくりが進んだりしたことが、今のようないまの京都市になるきっかけになったことを理解する。</li> </ul> <p>5. まちを元気にした他の取組を調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>琵琶湖疎水以外にも、京都を変えた人物や取組を調べ、その時代のたくさんの人の活躍があって今の京都が出来上がったことを理解する。</li> </ul>

## 【学習指導案】

## 社会科学習指導案

指導者 根津 亮介

1 日 時 平成29年1月27日(金) 第5校時(14:00~14:45)

2 学年・組 第4学年2組(27名)

3 場 所 4年2組教室

4 単元名 きょう土をひらく 「用水のけんせつ ～琵琶湖疏水～」

## 5 単元の目標

琵琶湖疏水を開発した先人の働きに関心をもち、その足跡を年表等の資料を活用して調べて理解し、年表や白地図などの作品にまとめ、地域の人々の願いや努力と琵琶湖疏水を開発した先人の働きや苦心とを関連付けて考え、適切に表現し、その働きや苦心によって地域の人々の生活が向上したことを理解するとともに、先人の努力によって発展してきた地域に対する誇りや愛情をもち、地域のよりよい発展について考えようとする。

## 6 単元の評価規準

## 【社会的事象への関心・意欲・態度】

- ①琵琶湖疏水を開発した先人の働きに関心をもち、意欲的に調べている。
- ②先人の努力によって発展してきた地域に対する誇りと愛情をもち、地域社会のよりよい発展を考えようとしている。

## 【社会的な思考・判断・表現】

- ①琵琶湖疏水を開発した先人の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え、適切に表現している。
- ②地域の人々の生活の向上には、人々の願いやそれを実現するための努力があったことと、北垣国道や田辺朔朗をはじめとする先人の働きや苦心があったことを関連付けて考え、適切に表現している。

## 【観察・資料活用の技能】

- ①今も残る琵琶湖疏水の様子、年表その他の資料を活用して必要な情報を集め、適切に読みとっている。
- ②琵琶湖疏水の開発に尽くした先人の働きや苦心を年表や白地図等の作品にまとめている。

## 【社会的事象についての知識・理解】

- ①琵琶湖疏水を開いて地域の発展に尽くした北垣国道や田辺朔朗をはじめとする先人の働きを理解している。
- ②地域の人々の生活の向上は、人々の願いや努力、先人の働きや苦心によるものであることを理解している。

③児童の思考によりそう単元構想

単元構想図

きょう土をひらく 「用水のけんせつ ～琵琶湖疏水～」 (全1+1.3時間)

大導入 (1時間)

①わたしたちの住んでいる京都市はどのような町なのだろう

- にぎやかな所もあれば自然もたくさんある所もある
- 世界でも有名な観光都市だね
- いつからこのような町になってきたのだろう
- お寺などの観光スポットもたくさんある
- 総合では「モノづくりの町」ということも学習したよ
- 誰かが何かをして、このような町になったのではないかな

であう・つかむ (3時間)

②水道水はどのようにしてわたしたちの元へ運ばれていたのだろう

- 琵琶湖から来た水が浄水場できれいになって、ポンプで私たちの元へ運ばれていたね
- 琵琶湖から浄水場まではどのようにして運ばれているのかな③

③琵琶湖からどのようにして水は運ばれるのだろう

- 琵琶湖と京都市の間には山がある
- トンネルで山の中を通っているようだね
- 120年前に作られた琵琶湖疏水というものだ
- そんな昔に誰がどのように作ったのだろう④

誰がどのようにして琵琶湖疏水を作ったのだろう

④学習問題の予想をし、調べる計画を立てよう

誰が中心となって作ったのかな⑤

120年前にどのように作ったのかな⑥

どのくらいのお金や時間がかかったのかな⑦

調べる (7時間)

⑤琵琶湖疏水作りは誰を中心に進められたのだろう

- 京都府知事の北垣国道が疎水作りを提案した
- 島田道生が測量をして、水を流すルートを決めた
- 田邊朝郎が技術的にも難しいとされてきた疎水作りの若きリーダーとして活躍した

⑥琵琶湖疏水はどのようにして作られたのだろう

- 機械ではなく、人の力で工事が進められた
- 疎水作りのためにレンガ工場を京都に作った
- トンネルでは鑿坑方式を取り入れた
- 17名の命が亡くなってしまいうほど危険な作業だった

⑦琵琶湖疏水を作るためにどれくらいのお金や時間がかかったのだろう

- 北垣知事が提案してから9年かかって完成した
- 疎水作りには約1兆円かかった
- お金は市民からも集めたようだ
- 疎水作りに反対する人はいなかったのかな⑨

⑧琵琶湖疏水に対して反対意見はなかったのだろうか

- 京都市の人はもちろん、大阪府や滋賀県からも反対意見があったようだ
- そのたくさんの反対意見に対して北垣知事は、たくさんの時間を割き、説得して疎水作りを進めた
- なぜそこまでして疎水作りを進めたのかな⑩

⑨北垣知事は何のために琵琶湖疏水を作ったのだろう

- 疎水を作ることによって舟を大津から大阪まで通し、物や人が行き交うにぎやかな町にしたかった
- 疎水を作ることで京都を元気な町にしたかった
- 疎水が完成して、どのような町になったのだろう⑪

⑩琵琶湖疏水が完成したことで、京都の町はどのように変わったのだろう

- 人口が増えて、北垣知事の思いが実現したようだね
- 市電が通ったことで町に店ができ、賑わっている
- 水力発電もできるようになって京都の町は随分と変わったね
- 工場が動くことで京都のモノづくりが進んだのではないかな
- 琵琶湖疏水ができたことが今の京都市になるきっかけだったのかもしれない

⑪京都の町が元気になってきたのにも関わらず、なぜ第二疎水を作ったのだろう

- 人口が増えたからこそ、より多くの発電をしなければならなくなったのだね
- きれいな飲み水を確保するためにも、全線トンネルで作られた第二疎水の水が必要だったのだ

⑫⑬学習問題についてふり返り， 疏水新聞を作ろう

まとめる  
(3時間)

北垣国道知事や田辺朔朗技師を中心として，さびれた京都に人々を呼び戻し，元気づけようと考え琵琶湖疏水を建設した。その工事にはトンネル工事などたくさんの困難があったが，それを乗り越えて琵琶湖疏水が完成した。

琵琶湖疏水を運河として利用して人とモノの流れができたり，発電に利用して今につながる新しい産業や市電が町を通ったりするなど，現在の京都市の姿となるきっかけともなった。

⑭京都の町を元気にした他の取組を調べよう

- ・琵琶湖疏水以外にも，いろいろなところで京都を変えた人物がいるようだ
- ・番組小学校という小学校を作ったのは，京都が日本初だったらしい
- ・今有名なお祭の中にも，この明治時代にできたものがあるね
- ・その時代のたくさんの人の活躍があって今の京都市ができあがった

【板書計画】

琵琶湖疏水が完成したことで，京都の町はどのように変わったのだろう

蹴上発電所

琵琶湖疏水のたまもの

市電

島津製作所

